(第三種郵便物承認)　上毛新聞　2013年(平成25年)8月26日(月曜日)　社会　(20)

渋川市長選立候補者の横顔

【メモ】①家族②趣味・特技③愛読書④生活信条⑤血液型

(右から届け出順)

猪熊　篤史候補(43)

健康管理気遣う国際派

【メモ】①妻・幸子さん②映画、読書③竜馬がゆく④動機善なりや、私心なかりしか⑤O型

「正しいと思った道を進み、信念を貫き通したい」。市議1期目、43歳の若さでの出馬に周囲の理解を得るのが難しい面もあったが、大きな決断を下した。反対の多い中で、地元の同級生からの「頑張れよ」との言葉を胸に選挙戦に挑む。

中学、高校ではソフトテニスに熱中。体を動かすことは今でも好きで、ウオーキングや自転車を通して健康に気を使っている。市民が気軽に使える運動場をもっと増やすことが目標だ。

青山学院大では英米文学を学び、卒業後は証券会社を経て、好きな英語を生かす道を模索するため、ボストン大大学院に「経済全般について学び、経営コンサルタントとして独立、国際的な視点も持ちつつ企業と関わってきた。

その後、もともと持っていた地域のために役立ちたいという思いが強くなり帰郷。前回市議選で初当選した。

高校時代、部活の帰り道に友達と立ち寄った街中のにぎやかさは今は失われている。趣味の映画や仲間との食事を楽しんだ中心街の姿は変わったが、「元気な渋川の街づくりに向け、どうやったら活気あるふるさとが実現するか議論を続けたいとしている。

田辺　寛治候補(61)

空手指導で子ども育成

【メモ】①妻・恵子さんと1男②空手、読書③宗教、哲学書④誠実⑤O型

2年半の議員生活で公平公正な予算、事業執行の必要性を強く感じ、立候補を決意した。縮小型社会が進む中で、将来を見越した行政改革や若者が定住する街づくりなどを訴える。「渋川の将来を決める、市民の良心を問う選挙になる」と意気込む。

大学卒業後は市内で印刷業に従事しながら、積極的に社会に関わってきた。青年会議所理事長など活動は多岐にわたる。2010年には「渋川山車まつり」の若連幹事長として、集客のための企画提案や広報活動に取り組んだ。

渋川高校入学時から40年以上にわたって続ける空手は、段の腕前だ。「これまで国内外で、指導や大会の運営を行ってきた。現在は道場の塾長を務め、次世代を担う子どもたちの育成に力を注ぐ。最近は選挙の準備で思うように時間を取れなかったが、本来は、空手の邪魔になるものは一切しない」

大学時代、インド哲学を専攻していたこともあり、思想、哲学書を読むことがもう一つの趣味。インド哲学からは欲や清貧など人間の生き方の基本理念を学び、今も自身の政治信条の礎となっている。

阿久津貞司候補(68)

営業で培った経営感覚

【メモ】①妻・敏子さんと1男2女②読書、スポーツ③老子④誠心誠意道理を貫く⑤B型

子持村長として新渋川市誕生に携わった。合併で一時は政界を引退したが、ともに尽力した木暮治一市長の急逝に伴い再登板。行政のトップとして市政のかじ取りをしてきた。

幼くして父母をなくし、伯母に育てられた。環境を恨めしく思ったこともあったが、トップとして激務が続く中で体を壊すこともなく、今は対夫に生んでくれた両親に感謝していると話す。優しく、厳しくもあった伯母の「後ろ指を指されるようなことをするな」との教えを大切にする。

中之条高卒業後、7年ほどサラリーマン生活を送り、外を飛び回るなどビジネスノウハウを学んだ。その後、業の農業に取り組みつつ、地域の方々に育てられた少年時代を思い返すことができればとの思いから、議員としてスタートを切った。

多忙で、楽しみにしていた花の手入れもなかなかできないが、「市民の皆さんが合併して良かったと思えるような街づくりにこれからも取り組んでいきたい」と力強く話す。市民の目線、経営感覚を行政に取り入れることを考え、職員には笑顔とあいさつの徹底を呼び掛ける。

【渋川市長選 選挙事務所一覧】

候補者	所在地	電話番号	出納責任者
阿久津貞司	渋川市渋川49-1	0279・23・8631	亀井勝男
田辺　寛治	渋川市渋川2316	0279・30・0015	田子賢二
猪熊　篤史	渋川市北橘町真壁1787-33	0279・20・4505	本　人

渋川市議補選候補者

(欠員1－2)

山崎　正男　66
保険代理業　無新
山崎総合保険代理店代表、NPO法人サポートハウスなずな理事。金島中卒

都丸　均　51
自営業　無元
ライフプランコンサルタント。元市議会議長、元市議5期。産能短大卒

夏の思い出つくったよ

ホリデーインまえばし

ロープ渡りを楽しむ子どもたち

子どもたちに夏の体験や出会いを集めたイベント「第39回ホリデーインまえばし」(同実行委主催)が25日、前橋市の敷島公園で開かれ、家族連れが子どもやお年寄りなどを楽しませた。

夏休みの思い出をつくってもらおうと、県内の企業や団体が31の体験ブースを設けた。うちわ作りや塗絵、輪投げなど手先を使って遊ぶ催しのほか、ボーイスカウト前橋地区協議会のブースではロープ渡りが行われた。体験した大沢蒼波ちゃん(4)＝同市鳥取町＝は「最初は落ちそうになったけれど楽しかった」と笑顔で話した。

来場者に公園以外の見どころを知ってもらおうと、ことしは周辺の10カ所を巡るクイズラリーも企画された。

幅広～い人気証明

館林のひもかわ

日本一

日本一のご当地うどんを決める「U－1グランプリ」が24、25の両日、東京都内で初めて開かれ、全国から24店舗・団体が参加した。来場者の投票で決まる評価部門で、本県のひもかわうどん(=館林市の花山うどん提供)が優勝。期間中の総売り上げを競う売り上げ部門でも2位に入った。同社専務の橋田高明さん(33)は、お客さまに感謝した。地方の食文化を知ってもらい館林のPRになればと喜んでいる。

都内でU－1グランプリ

地域によって調理法や食べ方の違ううどんの奥深さを知ってもらおうと、うどんミュージアム(京都市)などが開催した。

日本一のご当地うどんを決める「U－1グランプリ」の評価部門で1位になった本県の「ひもかわうどん」を食べる女の子＝25日午後、東京・代々木公園

ひもかわうどんは幅広の麺が特長。今回出品したのは、幅6センチ、厚さ1・5ミリほどの、ひらひらした麺に豚肉や半熟卵などをトッピングした冷たいメニューだ。

花山うどんは1894(明治27)年創業の老舗。今回の麺は橋田さんの曾祖父で3代目の藤吉さんが考案した「鬼ひもかわ」を再現した。橋田さんは、数年前、鬼ひもかわの作り方やパッケージなどを記した当時の資料を見つけて以来、「いつか作ってみたい」と思い続けてきたという。

ひもかわうどんは桐生市でも名物として定着し、メディアで取り上げられるなど注目を集めている。桐生麺類商組合の高田義昭組合長(65)は優勝について「ひもかわの知名度が高まり大変うれしい。これを機にこれまで以上にたくさんの人に桐生にも食べに来てほしい」と期待していた。

売り上げ部門は「ぶっかけうどん」の岡山県の店が優勝。両部門の2位以下の店が出たうどんは次の通り。

【評価部門】②梅うどん(和歌山)③ぶっかけうどん(岡山)

【売り上げ部門】②ひもかわうどん③梅うどん(和歌山)

4カ月間休館

安中市図書館

安中市図書館(同市安中)は26日から、同館が入る市文化センターのエレベーター新設工事のため、4カ月の休館に入る。利用再開は来年1月の見込み。休館中の一部期間は、新刊本の貸し出しや新聞閲覧ができるコーナーを特設する。

市文化センターは、1982年に完成、年間7万2千人の利用があるが、エレベーターがなく、市民からバリアフリー化へ設置を求める声が上がっていた。

10月2日から11月30日まで、図書館入り口付近のロビーで新刊本の貸し出し、月刊雑誌の閲覧、新聞の閲覧ができるようにする。

同市教委は、市民に「不便を掛けて申し訳ない」と話している。問い合わせは同市図書館(☎027・381・0529)へ。

【おことわり】連載の「戦火の記憶」は休みました。

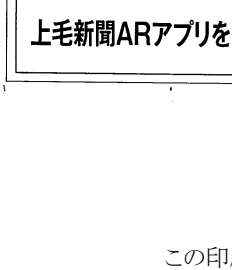
日本テレビの「人生が変わる1分間の深イイ話」でARアプリが紹介されました！

新聞掲載写真が動く！

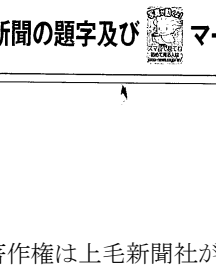
このイラストが目印です。新聞記事の中から探してね！

スマートフォン専用アプリ「上毛新聞AR」を使って、特定の写真や画像にかざすと、画像が動き出します。
紙面に印刷された写真をきっかけに、スマートフォンと連携することで、
印刷物では不可能だった動画の世界へ、読者のみなさんを誘導します。
より楽しく、より深く記事の内容に接することができる、拡張された情報の世界をお楽しみください。

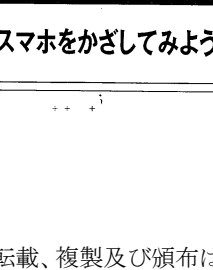
上毛新聞ARの使い方



Step 1
Androidの場合はPlayストア、iPhoneの場合はApp Storeから「上毛新聞AR」(無料)をダウンロードして、インストールします。「上毛新聞AR」で検索してください。



Step 2
インストールした「上毛新聞AR」を起動します。
起動したら、マークのある写真を画面に写します



Step 3
画面に写真が表示された状態で、そのまま待つと動画が始まります。最初に海苔さと loadingという文字が表示されます。
動画再生中に画面を2回タップすると、紙面から端末を離しても動画が見られます。

※対象となる写真にはARのマークや説明が付いています。すべての写真が対象ではありません。※初めてのときは動画の表示まで1～2分かかる場合もあります。※動作環境はAndroid OS 2.2以上、iOS4以上です。※通信状況やOSのバージョンによっては作動しないこともあります。

上毛新聞ARアプリをインストールしたら、上毛新聞の題字及び　マークがついている写真にスマホをかざしてみよう！

問い合わせ先
上毛新聞 営業局メディア事業部
TEL.027-254-9915

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。